

資料館だより

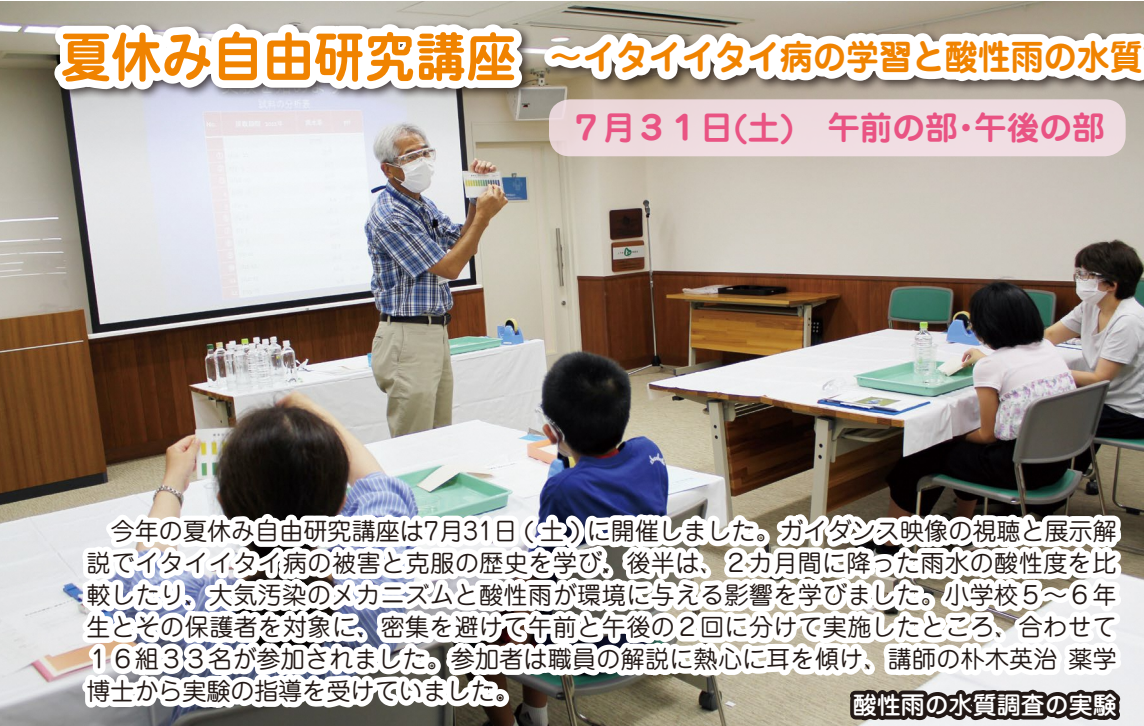
2021年 秋 号

contents

夏休み自由研究講座	1
来館者の状況について	1
トピック	2
資料館インフォメーション	2

夏休み自由研究講座 ～イタイイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～

7月31日(土) 午前の部・午後の部



今年の夏休み自由研究講座は7月31日(土)に開催しました。ガイダンス映像の視聴と展示解説でイタイイタイ病の被害と克服の歴史を学び、後半は、2カ月間に降った雨水の酸性度を比較したり、大気汚染のメカニズムと酸性雨が環境に与える影響を学びました。小学校5～6年生とその保護者を対象に、密集を避けて午前と午後の2回に分けて実施したところ、合わせて16組33名が参加されました。参加者は職員の解説に熱心に耳を傾け、講師の朴木英治 薬学博士から実験の指導を受けていました。

酸性雨の水質調査の実験



解説を聞きながら展示室を見学



館長から修了証が授与されました

参加者の声 (児童)

- 酸性雨の話は難しかったけど、実験では色の見分けを頑張れてよかった。
- 5年生で学習したイタイイタイ病の復習ができたし、知らなかった酸性雨のことも学べて楽しかったです。
- 説明がすごくわかりやすかったし、自由研究の場としてクラスのみannaにおススメしたいです。
- イタイイタイ病をわかりやすく理解できました。ありがとうございました。

(保護者)

- 今日学んだことを娘がどのように自由研究にまとめるか楽しみです。
- 社会人(大人)にも、資料館に足を運ぶこのような機会があればと思います。
- 展示解説がとても解りやすく、イタイイタイ病の克服の歴史について理解が深まりました。
- 我々世代は小学校でイタイイタイ病を詳しく学ぶ機会がなかったが、もっと教育に取り入れていくべきと思う。

来館者の状況について

富山県立イタイイタイ病資料館 副館長
有 沢 徹



当館の来館者数は、開館当初の平成24年度は3万8千名、近年は年間約2万6～8千名で推移しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は1万2千人弱と大きく減りました。

団体の来館者も、コロナ禍以前の平成30年度には9千名弱でしたが、令和2年度は、その5割、5千名弱となりました。

来館の状況

(単位：名)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
来館者数	28,252	26,103	11,702
うち団体来館者	8,634	7,476	4,845

以下、団体内訳

県内の団体	7,333	6,231	4,659
県外の団体	1,148	1,039	167
国外の団体	153	206	19

団体がどこから来館されたのかという観点からみると、平成30年度は県外から1千名強、国外から160名弱の来館がありました。令和2年度は、県外から170名弱、国外から20名弱となりました。

また、県内の団体は、平成30年度、7千名強の来館がありましたが、令和2年度は5千名弱となりました。

内訳をみると、学校以外の一般団体(社会福祉・社会奉仕団体や地縁団体など)は、平成30年度には1,700名余りの来館がありましたが、令和2年度は300名余りに減りました。

小学校は、平成30年度の8割、4千名弱に利用いただきました。また、近年、医薬・看護に関わる大学学部や専門学校を中心にPRを行い、来館者を増やしており、令和2年度は、看護系専門学校の利用はなかったものの、富山大学の医薬系の新入生を中心に来館いただき、大学については例年並みに利用いただきました。

今年度は、小学校や県外の学校から比較的順調に秋の来館予約が入り、夏休み前半には親子連れで展示室を訪れる光景が見られました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により8月18日から当館を含めた県営施設の臨時休館、その後のまん延防止重点措置区域入りで、令和2年度以上に今年度は厳しい状況になりそうです。

トピックス

春の特別企画展「報道がとらえたイタイイタイ病」

4月24日(土)～5月5日(水・祝)の期間、春の特別企画展「報道がとらえたイタイイタイ病」を開催し、イタイイタイ病が初めて報道された昭和30年から現在までの新聞報道をパネル展示しました。

期間中の4月29日(木・祝)に元富山新聞社記者 小川輝久氏を講師に招き、「イタイイタイ病50年前のひとこと」の演題で講演会を開催しました。司法担当記者としてイタイイタイ病訴訟取材した当時の興味深いお話しを、会場とweb参加の多くの方が聴講しました。



講師 小川輝久氏



パネル展示の新聞記事を読む来館者

語り部・解説ボランティア研修会

8月7日(土)、資料館の語り部及び解説ボランティア11名参加のもと、富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 土壌・環境保全課長の稲原誠氏に講師をお願いして、研修会を行いました。

長期にわたった汚染農地復元の経緯と関係者の努力を詳細に説明され、関心の高いテーマに参加者からは多くの質問があり丁寧に答えていただきました。



講師 稲原誠氏



熱心に説明を聴く語り部と解説ボランティアの皆さん

資料館インフォメーション

令和3年度 上半期の行事経過

令和3年

- 4月24日(土)～5月5日(水・祝)
春の特別企画展「報道がとらえたイタイイタイ病」
- 7月31日(土) 夏休み自由研究講座
～イタイイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～
- 8月7日(土) 語り部・解説ボランティア研修会

令和3年度 下半期の行事予定

- 10月9日(土) 四大公害病の語り部講話を聴く集い
～語り部による伝承会～
 - 12月28日(火) イタイイタイ病資料館活用研修会
- 令和4年
- 2月中旬 イタイイタイ病を考える県民フォーラム
(講演、学習発表など)

* 下半期の行事予定は変更または中止・延期になる場合があります。

新型コロナウイルス感染対策とお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当館では以下の対策を実施しております。

- ・定期的な消毒
- ・館内の換気
- ・スタッフのマスク着用での対応
- ・混み合った際の入館制限

皆様が来館される際は、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- ・手洗い、手指の消毒
- ・館内での咳エチケット（マスク着用等）の遵守
- ・展示室内での来館者相互の間隔を確保（最低1メートル以上）
- ・その他スタッフが指示する事項

また、咳、発熱、倦怠感などのかぜ様症状がある方は、来館をご遠慮いただきますようお願いいたします。

語り部講話の聴講者を募集しています

資料館を団体（原則10名以上）で見学される場合には、事前に申込みいただくと、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。

詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

メールマガジン

【登録者募集中】

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaitai-dis.jp】